

19 ガラス施工



ガラスの精巧な切断と加工技術の『競演』

建築用板ガラスは江戸時代から使われるようになりました。現在、ガラスの使用は建築物の外壁部に使用されている窓ガラスが一般的ですが、内装材としての使用割合も近年増加しています。厚型化、大型化の傾向も強まっています。断熱性、遮音性の高い高機能ガラスも最近の「省エネルギー」の風潮と相まって注目されています。

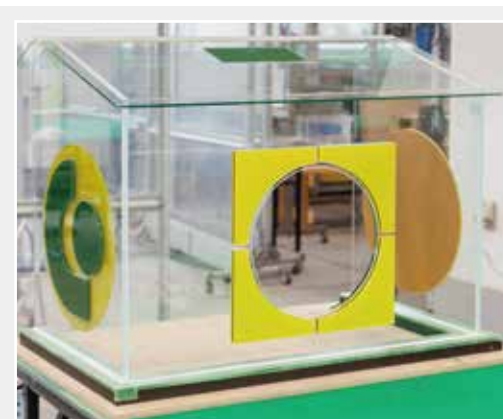


吸盤
ガラスに吸着させて
持ち上げる道具

競技概要

競技時間 7時間(1日)

板ガラスとカラーガラスを用いて、戸建住宅に見立てた「家形」を制作することにより、ガラスの持っている特性(強度・装飾性等)を表現します。切断技術(曲線切断)と小口加工技術、組立装着技能を難易度の高いところにおいた課題としています。



第30回 競技課題

Point

課題に対する取組みの姿勢、段取り、作業手順を基礎にして、切断精度、加工精度、シーリング精度等を厳守した課題を作成。完成品にバランスある装飾美を演出することを求めています。



ガラス切断用
カッター

まめかな
ガラスに穴をあける際に
使用する先がとがったハンマー